

ポポコ新聞

[Ponpoko News]

第79号



発行

2023年9月10日

喜多見ポポコ会議

<http://ponpoko.jp.org>



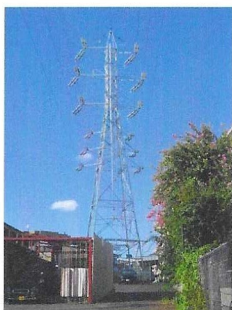
川世線35 昭和56年
6月建設、高さ59m



川世線34 昭和56年
6月建設、高さ59m



川世線33 昭和55年
9月建設、高さ60m



川世線32 昭和15年
12月建設、高さ35m



川世線31 昭和40年
10月建設、高さ50m

送電線

をたどってみました

この夏は猛暑日が過去最多を更新しエアコンを動かす電気の有難みをひしひしと感じました。2016年4月に電力小売全面自由化した後も以前と同じ送配電ネットワークを使って電気が届けられています。そこで、喜多見にもある鉄塔から送電線をたどってみることにしました。

喜多見に鉄塔5基

発電所でつくられた電気は変電所で使いやすい電圧に下げられ一般的には空中を送電線で送られます。この送電線を支えるのが鉄塔で、喜多見には喜多見小学校近くの「川世(かわせ)線31」から世田谷通り交差点にある「川世線35」まで5基あります。

千歳変電所と南武変電所

この送電線を北へたどると明正小学校や成城学園前駅近くを通り、京王線を越えて中央道の手前にある千歳変電所(世田谷区北鳥山)、南へたどると東名高速を越え、宇奈根の「川世線29」で千南線と分かれ、それぞれ多摩川を渡り再び合流し、南武変電所(川崎市高津区)へつながります。

各家庭へ



川世線の送電線は15万4千ボルト2回線ですが、宇奈根にある「川世線29」から千歳変電所へ向けて下段に千南線6万6千ボルト2回線を併架しています。また、成城の「川世線38」で成城線(地中送電線)に分岐しています。

配電用の成城変電所(世田谷区砧)で6600ボルトに下げ、町なかにある電柱の柱上変圧器で100ボルトまたは200ボルトに下げ、各家庭へ電気が届けられています。

川世線の元は群馬線

この「川世線」の元は、1922(大正十一年)年十二月に運転開始した群馬県の金井発電所(吾妻川利用の水力発電所)から川崎へ至る送電線(群馬線)です。渇水期の水力発電量減少を補つため1926・27年に川崎市内で火力発電所も運転開始しました。金井発電所は今も現役です。

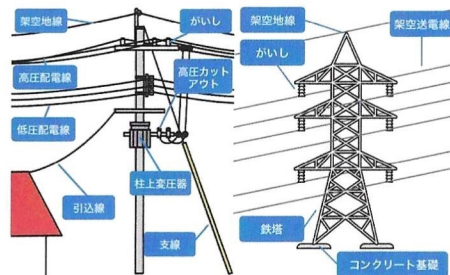
送電線をたどれば迷子になることもなく、歴史も感じられ、何気なく眺めていた風景が違って見えます。

鉄塔と電柱の構造

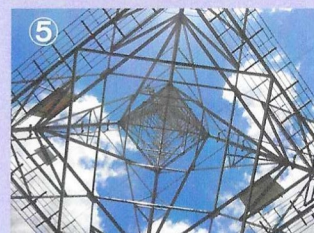
架空地線: 架空送電線や配電線へ雷が落ちないようにする、避雷針の役割があります。

がいし: 架空送電線から鉄塔、電線から電柱に電気が流れないようにする役割があります。

出典: 関西電力送配電HPをもとに作成



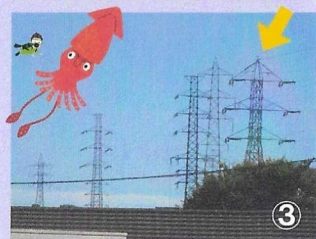
参考資料: 東京電力パワーグリッド「空き容量マッピング図表」2023.8、東京電力リニューアブルパワー「水力発電所一覧」2023.3、wiki「東京電力(1925-1928)」、Oka Laboratory 備忘録HP、鉄塔中毒HP、電気のおとりみちHP 他、取材協力: 東京電力パワーグリッド



鉄塔の形 喜多見の町なかで見かけるのが四角鉄塔、成城に多いのが鋼管単柱鉄塔(写真①、川世線41)、小田急線の線路にあるのが門形鉄塔(写真②)など。

イカ発見! 世田谷通りから水道道路を下ると沢山の鉄塔が見える中にイカ発見!(写真③矢印)「川世線32」です。宇奈根にある「川世線27」「川世線28」、成城三丁目緑地にある「川世線36」も同じ形です。昭和15年12月に一斉に建て替えられた鉄塔で、鉄塔好きの間で「イカ鉄塔」「イカちゃん」と呼ばれ人気があります。

千南線特8 多摩川の河原にある「千南線特8」も素敵です(昭和32年7月建設、高さ28m)。土台が産業遺構を思わせる煉瓦積み(写真④)、真下から鉄塔を見上げることもできます(写真⑤)。「川世線27」とともに(写真⑥)多摩川を渡る長い送電線を支えており、「いつも有難う」「頑張ってる」と声を掛けたくります。



③

喜多見でも買えます

エコ農産物



認証マークと個人販売所ポスター

喜多見の畑では、もともと農薬などの使用量が一般的な量より少ないと聞きますが…東京都は、安全・安心な農産物を消費者に届けるとともに環境に負荷をかけない農業を推進するため、2013年度から「エコ農産物」認証制度を設けています。「エコ農産物」は、たい肥や緑肥などによる土づくりを基本とし、化学合成農薬と化学肥料を東京都が定めた一般的な使用基準から減らして栽培されます。

喜多見の生産者・販売場所

- 石井 良彦さん
・販売機(喜多見1-10-17)
- 香取 康修さん
・個人直売所(喜多見1-9-3)
- 池田 鏡一さん・隼人さん
・ファーマーズマーケット二子玉川
- 田中 秀和さん
・個人直売所

出典:世田谷区『せたがやそだちの東京都エコ農産物』2023.3. 表は認証番号順。なお、販売場所が「ファーマーズマーケット二子玉川」と書かれていても、個人販売所に出ている場合があります。

日本一小さいようほうえん

生はちみつ直売



ミツバチの巣箱

喜多見7丁目の中通沿いで「生はちみつ直売」の看板を見かけ、養蜂園の梅村真樹子さんにお話を伺いました。

梅村さんは、養蜂家の先生に見に来てもらい、また、このあたりは緑が多く蜜源が十分だと思い切って昨年2月末からこの場所で養蜂を始めました。

蜜源は主に多摩川や野川と予測していましたが「うちの子たちを近所のお宅や公園で見かけたり、近所の方から来てるよと言われたりすることもある」そうで、現在、森林総合研究所の先生に今年の採蜜分に含まれる花粉の植物種の解析をお願いしています。

梅村さん「蜂たちがとにかくかわいい！蜂は頭がいい、賢い、謙虚で実直。蜂たちを見ていると、ひたむき過ぎて涙が出ちゃうんです。養蜂の仕事で一番嫌なのが採蜜です。悪いなあと思いつつながら毎回半分くらいはちみつを分けてもらってます。だから養蜂家には向いていません」

ミツバチ愛に溢れた梅村さん、はちみつ大事にいただきますね。

ミーハー情報

コタローは1人暮らし



富の湯

野川の箕和田橋

昨年に続き今年4月から6月、テレビ朝日で続編『帰ってきたぞよ！コタローは1人暮らし』が放送されました。

売れない漫画家・狩野進(横山裕、関ジャニ∞)が住むアパートの隣室に訳アリな1人暮らしの5歳児・さとうコタロー(川原瑛都)が引っ越してきたことで展開する、アパート住人たち(生瀬勝久、山本舞香、大家夫婦・イッセー尾形2役)との心温まるドラマです。

風呂なしアパートのため、ドラマの中で重要な構成要素となっているのが、コタローと狩野が毎日通う銭湯・富の湯と、銭湯帰りに歩く野川沿いの風景です。ドラマの中では架空の「国村市」とされていますが、狛江市のユニディ近くにあり『ポンポコ新聞』第47号でも紹介した銭湯(実名)、野川は調布市と狛江市が接するあたりにある箕和田橋付近です。大人びたコタローと日本一優しい大人たち、近場の銭湯と野川が使われていて嬉しくなります。

見逃した方はTELASA(有料)で見られることもできます。

INFORMATION

野川ガサガサ

中野田橋～茶屋道橋間で、ごみ拾い(階段清掃含む)のみ行います。使いきり手袋、軍手、ごみ鋏、ほうきはあります。使い慣れたものがある方は、お持ちください。

【日時】秋 2023年10月29日(日)

冬 2024年2月4日(日)

ごみ拾い 13:30-14:30

【対象】中学生～大人

(小学生以下は保護者同伴)

【集合】次大夫堀公園築山横の野川階段

【申込】直接お越しください

※ 天候不良の場合は、11月5日(日)、2月11日(日)に延期します。

※ 当面の間、生きもの調査は内輪(ポンポコ会員程度)で実施します。

緑を増やそう！ 植物の苗 & 種を配布

喜多見地区区民まつりは規模縮小のため、「みどりの物々交換会」は中止です。昨年度同様、植物の苗&種などを喜多見某所で配布する予定です。

新聞バックナンバー 書籍など借りられます

喜多見複合施設3階にある喜多見図書室でポンポコ発行物を閲覧・借用できます。どうぞご利用ください。

『ポンポコ新聞』、『PONPOKO REPORT』、『喜多見散策案内』、書籍『公共事業と市民参加』